

# 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成28年9月30日(金)  
児 童 男5名 女11名 計16名  
指導者 小笠原 弥生

- 1 単元名 こえにだしてよもう (光村1年下)  
教材名 「くじらぐも」 中川李枝子 作

## 2 単元で付けたい力

第1学年及び第2学年の「C 読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また、指導事項に、「ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」があげられている。

これを受けて、本単元では、児童に身に付けさせたい力を次のように考えた。

- 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読する力
- 想像を広げながら読む力

## 3 単元の指導にあたって

学級の子どもたちは、絵本に親しんでいる児童が多く、絵や写真を手掛かりにしながら読書を楽しんでいる。4月から図書室を利用して、50冊以上本を借りている子がほとんどである。また、教師や図書ボランティアによる読み聞かせを聞くこともとても好きである。入学当初は、毎日のように本の読み聞かせを行った。いつも静かに耳を傾けて聞くことができた。家庭学習では、毎日音読に取り組み、家でも楽しんで音読をしている。平仮名については、全員が書けるようになったが、書く速さに関しては、個人差が大きい。また、文章を書くことについても、個人差が大きい。

1学期のお話を読む教材「はなのみち」や「おむすびころりん」では、言葉と挿絵を結び付けながら文章を読み、音読しながら表現の面白さやお話の楽しさを味わうことを学習してきている。「おおきななぐ」の学習では、グループごとに役割分担をし、自分たちが考えた台詞を付け加えたり動作化したりして音読劇発表会を行った。どの子も役になりきって楽しんで発表することができた。

「くじらぐも」は、児童にとって身近な場面である体育の時間に、空に現れたくじらぐもにみんなで飛び乗るといった幻想の世界に入り、想像の世界で存分に遊んだ後に、再び現実の世界に戻ってくるというお話である。普段見慣れている雲と自分たちと同じ1年生が大空を舞台として活躍するお話なので、想像を広げやすく親しみやすい内容である。また、登場人物の動きを動作化しやすい文章表現も多い。文章全体のリズムもあり、お話の中にくじらぐもと子ども達のやり取りがたくさん出てきて、子どもたちが、物語の世界に入り込み楽しんで音読できる教材である。

指導に当たっては、身に付けさせたい力を付けるために、「自分たちが考えた『くじらぐも』を2年生に発表しよう。」という学習課題を設定し、単元を通して学習していく。その際、次の3つに留意して指導を進めていきたい。

1つ目は、実際の雲を見ているいろいろな形を想像したり、みんなで輪になって飛び上がったりして物語の子ども達になりきって楽しんで音読させたい。

2つ目は、言葉と挿絵からイメージを膨らませ登場人物の心情を読み取り、想像したことを会話文や動作で表現することで読みを広げさせたい。

3つめは、ペア学習やグループ学習を取り入れ、自分の考えを持ちはっきり話したり、大事なことをしっかり聞き取ったりする力を身に付けさせたい。

【言語活動の工夫・改善】

(1) 語のまとまりや言葉の響きに気を付けて音読する力を付けるために

- ① 主体的に読むために、大好きなところを見付けながらみんなで声に出してたっぷり楽しんで音読させる。
- ② 家庭学習と連動させて、言葉のまとまりに気を付けて音読させる。

(2) 想像を広げながら読む力を付けるために

- ① 文と挿絵を照合させながら登場人物の気持ちを想像し、場面にぴったりの読み方を考えさせる。
- ② 動作化を取り入れ、場面の様子を想像させる。

【振り返る活動】

- ① 「楽しく音読できたか」「友だちの話聞くことができたか」について振り返り、次の学習の意欲へとつなげる。
- ② 音読発表会を開き、良さを見つけ合う。

4 単元指導計画（8時間）

単元目標	◎登場人物の気持ちや場面の様子について想像を広げながら楽しんで読もうとしている。 <span style="float: right;">【関】</span> ◎場面の様子を想像し、その様子が表れるように声に出して読むことができる。【読】 ○登場人物の行動を中心に、好きなどころを見つけながら読むことができる。【読】 ・お話の好きなどころを見つけて書くことができる。【読】 ○かぎ（「 」）の使い方を理解することができる。【言】		
	関心・意欲・態度	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
評価規準	・お話に興味を持ち、場面の様子を想像しながら、楽しんで声を出して読もうとしている。	・会話文を工夫しながら、場面の様子が分かるように音読している。 (1) ア ・場面の様子や登場人物の行動について想像を広げながら読んでいる。 (1) ウ ・お話の好きなどころを見つけて書いている。 (1) エ	・会話文は、かぎ（「 」）を使って書くことを理解している。(1) イ (オ)

【学習計画】（全8時間）

次	時	学習内容	○指導上の留意点 ◆言語活動の工夫・改善	評価規準
1	1	○全文を通読して粗筋をつかむ。 ・作者の紹介を聞き、関心を広げる。 ・題名から内容を予想し、範読を聞く。	○今までに見た雲について発表し合い、興味を持たせる。 ○作者の他の作品を紹介し関心を持たせる。	○想像を広げながら、物語を楽しんで読もうとしている。 (観察・発言)【関】
	2	○挿絵を手がかりに想像を広げながら大体的内容を捉える。 ・学習課題を確かめ、学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">おんどくはっぴょうかいをしよう。</div> ・新出漢字・片仮名の読み方と筆順を学習する。	◆挿絵を手がかりに、だれが何をしたかを場面ごとに捉えさせる。  ○書き順・字の形を丁寧に知らせる。	○想像を広げながら、物語を楽しんで読もうとしている。 (観察・発言)【関】
2	3	○お話の中で、大好きなところを見つける。 ・話の内容を場面ごとに確認しながら、いろいろな読み方で音読する。 ・大好きなところを見つけ交流する。	○場面ごとに、人物の行動や場面の展開を一つ一つ押さえる。 ◆好きなところの中から一番好きなところを見つけ音読させる。	○場面の様子や登場人物の行動について、好きなところを見つけて書いている。 (発言・ノート)【読】
	4	○子ども達とくじらぐもの役に分かれて動作化しながら会話文を読む。 ・子ども達とくじらぐもの役に分かれて、動作化しながら☑話文の読み方を工夫する。	○助詞「も」や、会話が繰り返されていることに着目させる。 ◆動作化しながら場面にぴったりの音読をさせる。	○会話文を工夫しながら、場面の様子がよく分かるように音読している。 (発表・音読)【読】

5 (本時)	<p>○くじらぐもに乗って旅をする子どもたちになりきって、様子を想像して会話を付け加えながら音読を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くじらぐもに乗ったつもりで、雲の上での会話を想像して吹き出しに書く。</li> <li>・想像した会話を付け加えて音読を楽しむ。</li> </ul>	<p>○叙述にあった想像ができるようにさせる。</p> <p>○本文や挿絵から子どもたちの会話を想像させる。</p> <p>◆想像した会話を吹き出しに書き、行間に入れて音読させる。</p>	<p>○想像を広げて会話を付け加え、場面の様子がよく分かるように音読している。</p> <p>(発言・吹き出し)【読】</p>	
	6	<p>○かぎ(「」)の使い方を学び、かぎを使って自分が考えた言葉を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材分の会話をノートに試写する。</li> <li>・自分が考えた会話をかぎを使って書く。</li> </ul>	<p>○かぎの形とマス目の中の位置、かぎの前後を改行することなど、書き方を知らせる。</p>	<p>○会話はかぎ(「」)を使って書くことを知り、句読点やかぎを正しく用いて書いている。</p> <p>(ノート)</p> <p>【言】</p>
3	7	<p>○好きな場面を選び、グループごとに役を決めて音読の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物になりきって、声の大きさ・読む速さを工夫して音読の練習をする。</li> <li>・中間発表会をする。</li> <li>・良いところを取り入れ、再び音読の練習をする。</li> </ul>	<p>◆考えた会話文を加え、これまでに学習した音読の工夫を基にして音読の練習をさせる。</p> <p>○お互いのグループの良いところを発表し合う。</p> <p>○お互いの音読で良かったところを取り入れ練習をさせる。</p>	<p>○場面の様子や登場人物について、好きなところを見つけながら読んでいる。(観察)</p> <p>【読】</p>
	8	<p>○音読発表会を行い、感想を交流し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに、音読の発表をする。</li> <li>・友達の発表で良かったところを伝え合う。</li> <li>・全員でまとめの音読をする。</li> <li>・学習を振り返る。</li> </ul>	<p>◆登場人物の気持ちを想像し、動作化しながら場面にぴったりの音読をさせる。</p> <p>○お互いの音読の良かったところを見つけながら聞かせる。</p>	<p>○人物や場面の様子が分かるように、想像を膨らませながら工夫して音読している。(発表)</p> <p>【読】</p>

## 5 本時の指導

### (1) 目標

くじらぐもに乗って旅をする様子を想像し、会話を付け加えて音読することができる。

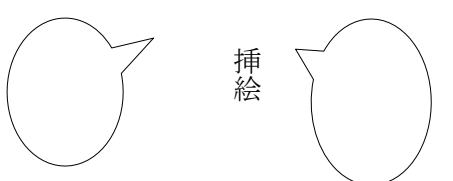
### (2) 展開

	学習内容	・指導上の留意点 ◆言語活動の充実を図る工夫・改善
導入	1 前時までの学習を確認する。 2 学習課題を確認する。	
5分	(くじらぐもにのって) はなしたことばをかながえて、おんどくしよう。	
5分	3 課題解決の見通しをもつ。	・学習の流れを確認する。
展開	4 課題を解決する。 (1)学習する場面を想像しながら音読する。 ・範読を聞く。 ・みんなで読む。 (2)叙述から、くじらぐもや子ども達の様子を確認する。 ・くじらぐもの様子 ・子どもたちの様子 ・空の様子 (3)どんな物が見えたかを想像する。 (4)くじらぐもの上で話したことを想像して吹き出しに書く。 ・ペアで交流する。 ・全体で交流する。	・自分ならくじらぐものどこに乗りたいかを考えさせ、自分の絵をくじらぐもに貼らせる。 ・くじらぐもと一緒に乗っている気分で音読させる。 ・挿絵を参考に、叙述に沿って確認させる。 ・くじらぐもは、青い空の中を元気いっぱい進み、みんなは歌を歌っていることを押さえる。 ・どんな物が見えたか隣の人と自由に話させる。 ・挿絵だけにこだわらず自由に想像させる。 ◆見えたものだけでなく、その時の心情も合わせて吹き出しに書く。 ◆隣の人・前後の人と交流する。 ・是非みんなに紹介したい人とその理由を発表させる。
25分	5 まとめ読みをする。 ・指名読み ・全体読み	・考えた会話を入れて、くじらぐもにのっている気分で読ませる。
終末	6 学習を振り返る。 ・板書を使って今日の学習を振り返る。 ・振り返りを発表し合う。	・「楽しく音読できたか」「友だちの話を聞くことができたか」について振り返る。 ・子どもたちが頑張ったことを評価し、次時への意欲を高めさせる。
5分	7 次時の学習を知る。	・次の朝活動の時間に2年生に音読を聞いてもらうことを伝える。

### (3) 評価

くじらぐもに乗って旅をする様子を想像し、自分が考えた会話を付け加えて音読している。

6 板書計画

<p>○ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・たのしくおんどくできたか。</li><li>・ともだちのはなしをきくことができたか。</li></ul>	 <p>挿絵</p>	<p>○ようす</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・くじらぐも</li><li>・げんき</li><li>・いっぱい</li><li>・みんな</li><li>・うた</li><li>・空</li><li>・青い</li><li>・青い</li></ul> <p>どこまでも どこまでも</p> <p>○はなしたことば</p>	<p>くじらぐも</p> <p>はなしたことばをか んがえて、おんどくし よう。</p>	<p>くじらぐも</p> <p>なかがわ りえこ</p>
	<p>本文</p>			
	<p>挿絵</p>			